

2017年8月17日

各位

公益社団法人自動車技術会
第15回全日本学生フォーミュラ大会事務局

第15回全日本学生フォーミュラ大会 取材のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来たる9月5日より5日間、「第15回全日本学生フォーミュラ大会」を開催いたしますので、ここにご案内申し上げます。

大会の様子や参加チームに取材を予定されている方は、8月29日(火)までに、別紙申請書をFaxもしくはE-mailにて事前にご連絡いただきたく、宜しく願い申し上げます。申請いただいた方には、事前に「プレスキット」をお送りいたします。

大会当日の取材対応を円滑に進めさせていただきたく、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

○第15回全日本学生フォーミュラ大会 開催概要

【日時】 2017年9月5日(火)～9日(土)

【場所】 小笠山総合運動公園(通称:エコパ) 静岡県掛川市/袋井市

【チーム数】 98チーム(国内74チーム・海外24チーム)

※事前提出書類による書類選考を行ない、通過したチームのみが本大会に出場します。

【トピックス】

① レギュレーション変更。

- ・より円滑な審査を目的としてチーム受け入れ数を98チームに制限
- ・ICVクラスのエンジン排気量を610ccから710ccに変更
- ・点数配分の変更 アクセラレーション 75→100、スキッドパッド 50→75
オートクロス 150→125、エンデュランス 300→275

② EVクラスでは、過去最多の15台が参加登録。日本勢(8チーム)と海外勢(7チーム)がほぼ同数。

③ EVクラスには、ICVクラスで優勝実績のある名古屋大学が参戦。

《大会の着目点》

本大会は、学生たちがものづくりやマネジメントを実体験する場として、社会的にも刻々と認知が深まっており、特に自動車産業や機械産業、電子産業などの企業や組織においては、本大会経験者の創造性や実務能力の高さが注目され始めてきています。これまで本大会に参加し社会へ巣立った学生は延べ15,000名以上にもおよび、その中から自動車業界に就職して日本のものづくりに直接関わっている「卒業生」も刻々と増加しています。

若者の“クルマ離れ”、“理系離れ”が取り沙汰される昨今ではありますが、この『学生フォーミュラ』の大会の現場、あるいは各チームの活動の現場に触れていただければ、決してそうではないということを実感していただけるはずです。

大会会場では、メディアの皆様にも、取材を通じて彼らの生の声を聞くことから、この大会の意義、位置づけをよりダイレクトに感じ取っていただければ幸いです。

(参考:記者発表資料・大会のPV) <http://www.jsae.or.jp/formula2017media/>

以上